



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1

www.aioinissaydowa.co.jp

**【国内初】テレマティクスデータを活用し、脳体操アプリの利用結果から安全運転アドバイスをを行う新サービスを提供**

2024年8月29日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、「運転技能向上トレーニングアプリ」（以下、脳体操アプリ）の利用結果からお客さまの運転傾向を診断し、安全運転につながるアドバイスをを行う新たなサービスの提供を2025年1月から開始します。運転実績に基づかず、アプリの利用のみで運転傾向を診断し、アドバイスを提供するサービスは国内初となります。

**1. 背景**

少子高齢化や人口減少による地域交通網のドライバー不足などに起因し、日常生活における移動手段の一つとして自動車の必要性は高まっており、一人ひとりの安全運転に対する取り組みや運転寿命の延伸が重要な課題となっています。

当社は、2021年11月より国立大学法人東北大学加齢医学研究所（以下、東北大学）・川島隆太教授、学校法人河原学園人間環境大学（以下、人間環境大学）・野内類教授および株式会社仙台放送（以下、仙台放送）とテレマティクス自動車保険で取得したビッグデータを活用し、脳体操アプリによる危機回避能力向上・事故削減効果等の実証に向けた共同研究を実施しています。

今般、当社は東北大学、人間環境大学および仙台放送と、共同研究を通じて「速度超過」「急加速」「急減速」などの運転上の危険挙動の発生可能性を脳体操アプリの利用結果から予測できるアルゴリズム<sup>※1</sup>を開発しました。このアルゴリズムを用いて、アプリの利用のみでドライバーの運転傾向を診断し、安全運転につながるアドバイスをを行う新サービスを提供していきます。

※1 運転挙動データに基づく「運転技能向上トレーニング」に関する特許を当社、東北大学および仙台放送の三者共同で取得しました

**2. 概要**

名称	・運転タイプ診断
機能	・脳体操アプリの利用結果からユーザーの運転傾向を診断し、8パターンの中から合致する運転傾向タイプを判定 ・運転傾向タイプに応じて想定されるヒヤリハット場面に関する安全運転アドバイスを実施
利用方法	① テレマティクス自動車保険に加入のお客さま ⇒ 専用アプリのコンテンツとして利用可能 ② テレマティクス自動車保険に未加入のお客さま ⇒ 地方自治体との共同イベント等で配布する専用チラシに掲載された二次元コードをスマートフォンで読み取ることで利用可能
提供開始	・2025年1月
利用料	・無料

**STEP1 脳体操アプリをプレイ**


専用アプリもしくは専用チラシに掲載された二次元コードからゲームプレイ



ゲーム画面（イメージ）

**STEP2 診断結果の確認**

運転傾向を8つのパターンから診断し、安全運転につながるアドバイスを提供



診断結果画面（イメージ）

### 3. 今後の展開

本サービスは、仙台放送の運転技能向上トレーニングアプリ「BTOC（ビートック）」※2にもコンテンツとして追加予定です。当社は、今後もテレマティクス自動車保険を通じて蓄積した走行データを活用し、交通事故低減に向けた商品・サービスの開発に取り組んでいきます。

※2 [https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2024/news\\_2024052801309.pdf](https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2024/news_2024052801309.pdf)

<「お客さまと地域・社会」双方の安心につながるテレマティクス自動車保険>



以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組みます。

